

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	松井公民館公民館主催事業	所管	教育委員会教育総務部 松井公民館
			TEL 2994-1222

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。
------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民を対象とする。	対象とした数	337,058	人
		実際に 利用した数	9,154	人

活動の内容	(何を したか)	①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。								
		活動実績	項目名	主催事業	23	項目名	事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	683	項目名	アンケート結果の分析
				----- 単位 件			----- 単位 枚			----- 単位 件

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,658	2,098	13,371	39.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	90 ----- 単位 %	98 ----- 単位 %	1.1 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120707	TEL	2994-1222
事業コード	松井公民館公民館主催事業					
120711	教育委員会教育総務部 松井公民館					
開始年度		昭和 29 年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則
	関連・類似事業	文化活動支援事業(社会教育課)、家庭教育推進事業(社会教育課)			
	総体計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育
				中柱	1 人と地域をはぐくむ社会教育の推進
			小柱	(3) 地域とともにあゆむ公民館活動の充実	
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	地域コミュニティの拠点整備			コード
	1221				
	事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においては、その設置目的達成のため、実際生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を行うこととされている。			

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)								
	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)								
	市民を対象とする。			利用数の考え方 公民館主催講座の延べ受講者数					
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	9,698
		平成 19 年度	337,058	人			平成 19 年度	9,154	人
①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点 本年度ミュージズとの共催事業を初めて開催した。地元の要望で韓国語講座を開始し、新たに映画会も子ども対象だけではなく、大人向けの企画をした。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		1,824	1,658	2,270	
	決算 (見込み含む)		1,488	2,098		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 0.40 人) ( 0.00 人) ( 0.60 人) ( 0.20 人)				
	正規職員人件費		1.25 人	11,500	1.20 人	11,273
	公債費					
	事業費合計		12,988	13,371		
	財源内訳	一般財源	12,988	13,371	2,270	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		38.4	39.4		
	利用数一単位あたり(単位:円)		1,339.2	1,460.7		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	主催事業	年間事業数	件	22	23	23	
		事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	アンケート回答件数	枚		683	1000	
		アンケート結果の分析	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	件		670	800	
	成果分析	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	目標値		90	90	90
実績					98			
達成率					109%			
					実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益者負担の有無	見直しの必要性
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	関係	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題		主催事業に関しては、地域住民の学習要求に対し、予算や人的ことから公民館でその要求の全てを満たしていくことは難しい状況がある。こうした中でも、地域の特性や公民館が地域で果たすべき役割をもう一度見直し、的確な事業企画、運営に努めていきたい。また、福祉、子育て支援、環境などの課題にも取り組んでいきたい。実施した主催事業のほとんどが満足度は高く好評である。			
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	団塊の世代が定年退職後に地域について学習できる講座を企画する。	講座終了後のアンケートで、講座の満足度90%以上にする。	平成21年3月	
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
市民の学習要求は年々多様化、高度化しているところであるが、現状では予算的問題あるいは人的な問題から十分に答えられない状況にある。問題解決のためには何らかの予算確保の手立てを講ずるとともに職員体制の充実を図る必要がある。					
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	松井公民館長 鈴木 正行		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	412
⑩個別計画における方向性	施策の体系	4-1環境教育・環境学習の推進	施策の方向	4-1-2学習の場や機会の提供
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				